

2025年への対応方針

【2019年改訂版】

1. 基本情報

【2019年10月時点】

医療機関名	医療法人真木会 真木病院
所在地	群馬県高崎市筑縄町 71-1
沿革	昭和16年：高崎市檜物町に外科病院として創設 昭和45年：現在の地、筑縄町に移り外科、内科、整形外科を標榜する真木病院として新規開設 昭和52年：地域で最初の人間ドック開始 平成18年：高崎PET総合画像診断センターを病院南側に開設 平成25年：高崎PET総合画像診断センターを真木病院外来棟に変更 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	150 床	0 床	122 床	0 床	0 床	28 床
	平均在院日数	日	16.8 日	日	日	日
	病床稼働率	%	93.2 %	%	%	%

※地域包括ケア病床32床あり

将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	150 床	0 床	115 床	35 床	床	0 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も二次救急など地域に求められる急性期機能を提供していくとともに、急性期治療を終えた患者や在宅で暮らす方にもリハビリテーションを提供する体制を拡充していく。今後も救急医療を中心に高度な医療を提供していくとともに、救急医療を終えた患者様に対するリハビリテーション機能の充実を図る。そのために地域包括病床の増床を計画している。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	17 科 (内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、人工透析内科、外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、腫瘍外科、内視鏡外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線診断科、肝臓胆嚢膵臓内科、内科 (脳・神経))
------	---

現在	○ : がん	○ : 脳卒中	○ : 心血管疾患	○ : 糖尿病	○ : 精神疾患	○ : 在宅医療
	○ : 救急	○ : 災害	○ : へき地	○ : 周産期	○ : 小児	○ : その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			

将来 (2025年)	○ : がん	○ : 脳卒中	○ : 心血管疾患	○ : 糖尿病	○ : 精神疾患	○ : 在宅医療
	○ : 救急	○ : 災害	○ : へき地	○ : 周産期	○ : 小児	○ : その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学医学部附属病院	高崎総合医療センター	日高病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	群馬大学医学部附属病院	日高病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 切れ目のない医療 体制	人間ドック、PET-CTによる検診を始め、急性期治療を行い、在宅復帰支援として地域包括ケア病床で充実したリハビリを受け、在宅への退院を支援している。また在宅にて継続的に医療看護が必要な患者様へ訪問診療看護の提供ができる体制が整っています。
特徴的な チーム医療	認知症ケア、緩和ケア等において、医師を始め、他職種で連携を図り、情報の共有及びアセスメント、実施、評価（PDCAサイクル）にて身体拘束はゼロに近い。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック、PET-CT等による健康診断に力を入れ、疫病の早期発見、早期治療に努めている。 ・二次救急病院として特に高齢者の救急車を積極的に受け入れる体制を整えている。 ・急性期治療を終え在宅復帰に努め、リハビリテーション体制の充実を図っている。
当院の未来像	将来病院を建て替える予定で現在進行中。今後更に人間ドック、PET-CT等健康診断を充実し、疫病の早期発見や予備軍の健康診断をより丁寧に行って行きます。救急医療をはじめ、治療後は在宅復帰支援と他職種で地域のサポートを担って行きます。患者様が安心して自宅で生活が送れる様、在宅医療に切れ目のない医療の提供を行って行きます。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	「すべては患者様のために」の病院方針、いつも今、自分に何ができるかを考え、患者様へ心のこもった医療を提供して行きます。他職種と連携を図り、在宅社会復帰に向けサポートして行きます。